

学科名	ダンスパフォーマンス科
コース名	
授業科目	H I P H O P 7
必選	必
年次	2年次
実施時期	後期
種別	実習
時間数	30
単位数	1
担当教員	TAMIYA/YWKI/ACHI
実務経験	有
実務経験職種	プロダンサー
授業概要	この科目ではストレッチやアイソレーション等、基本的な体の動きを学び、ステップやコンビネーションを理解して作品を作る。 また振付を通して応用的なHIPHOPの表現を学びます。
到達目標	この科目ではHIP HOPの基礎的な体の動きを土台とした応用的な表現方法をコンビネーションやルーティーンを通して理解します。
授業方法	ストレッチ、体幹トレーニングによる基礎体力作り、アイソレーションを通して体の動き理解する。 毎レッスンテーマにそった課題振付を反復練習する事でステップやコンビネーションを修得する。
成績評価方法	成果発表 50% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 平常点 50% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する
履修上の注意	前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	適時レジュメ・資料を配布する

授業計画	
第1回	YWKI先生応用④/日本語詞の楽曲を用い、振付の意味を理解し表現できるようになる
第2回	YWKI先生応用⑤/楽曲・振付の意味を理解し、既定の振付に自己のニュアンスを加えて表現できるようになる
第3回	YWKI先生応用⑥/既定の振付課題を用い、少人数グループごとに表現力のレベルチェックを行う
第4回	TAMIYA先生応用④/運動量が多い振付を反復練習し、疲労度が高まってパフォーマンスを維持できるようになる
第5回	TAMIYA先生応用⑤/細かく且つ運動量が多い振付を実践し、常に集中力を持続させるトレーニングを行う
第6回	TAMIYA先生応用⑥/長めの振付課題を制限時間内に覚え、オーディション形式で振り覚えの技術をチェックする
第7回	ACHI先生応用④/リズムキープが重要となる振付を実践し、早いテンポでも正確な振付ができるようになる
第8回	ACHI先生応用⑤/既定の振付課題を用い、リズムに重点を置いた自由演技を続けて踊れるようになる
第9回	ACHI先生応用⑥/少人数のグループで既定振付～自由演技を発表し、表現力のレベルチェックを行う
第10回	卒業公演 振付①/振付師の考える楽曲・振付テーマ・表現したい内容を理解し、振付に取り組めるように準備する
第11回	卒業公演 振付②/ユニゾンパートの振付を練習する
第12回	卒業公演 振付③/ユニゾンパートの振付の精度をレベルチェックし、立ち位置を決める
第13回	卒業公演 振付④/オーディションを行いソロパート、少人数パートの出演者を決める
第14回	卒業公演 振付⑤/ソロ、少人数パートの振り入れを進め、ユニゾンパートに繋げる
第15回	レベルチェック/振付①～⑤までの精度を確認し、パート構成に臨む準備をする